

あかねの里  
令和 7 年度 第 5 回運営推進会議録

1. 開催日時      令和 8 年 1 月 22 日（木）16:00～17:00
2. 開催場所      あかねの里内会議室
3. 参 加 者                          （利用者代表）  
  （家族会代表）  
  （地域住民代表）  
  （地域住民代表）  
  （出雲市高齢者福祉課）  
  （あんしん支援センター）  
  （ホーム長）  
  （事務員）

**【議題】**

1. 運営推進会議を活用した外部評価の実施 について(Ⅲ)
2. その他
- ★ 利用者状況 について

**【内容】**

当日、委員の皆様と話し合った内容については、別紙資料添付

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉遣いについて敬語を心掛けるよう指導している。</li> <li>・居室の移動は必要性のあるときのみ行っている。</li> <li>・入居時に本人にとってなじみのある物品等があれば、持参いただくよう家族様に依頼している。</li> </ul>		A. 充分にできている(満場一致)	日常は拝見できていないが、来所時の職員と利用者の関係はいい関係性に見えました。今後も評価に基づき適切な取り組みをお願いします。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	B. ほぼできている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中眠気のあるときなどは、食事時間やお茶の時間をずらしている。</li> <li>・「その人らしい」というどこまでの話となるか難しいですが、施設での生活の中でそれぞれ自分のペースで過ごしていただけるよう配慮している。</li> <li>・ケア会議等で話し合って、その方の希望や意向に近づけるようにしている。</li> <li>・予定に上がっていることも、個々の利用者様の性格や、その日の状況に合わせて無理をせず、スタッフも気持ちに余裕をもって利用者様のペースに合わせた支援に努めている。</li> <li>・職員の都合により利用者様の生活スケジュールが大きく影響されないよう心掛けているが、会議や病院受診などの理由により入浴時間などの予定が変更されることがある。</li> </ul> <p>【補足説明】</p> <p>職員側の都合を説明し、時間調整などをお願いすることがあり、自己評価をBとする。</p>			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者や職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節に応じたメニューを立てて提供している。</li> <li>・食事形態は「普通食」「刻み食」「ミキサー食」と、各利用者の身体機能に合わせた形態で提供している。</li> <li>・現在、厨房棟で調理された食材を提供しているが、ご飯、汁はユニットで調理をしている。</li> <li>・各利用者様の機能レベルなどを踏まえた席の配置にする等、食事を楽しめるよう努めている。</li> <li>・各利用者様の嗜好品については、入所時や面会時に情報を得るよう心がけている。</li> <li>・終末期食事を摂ることが難しくなってこられた時は、食事提供は中止し、栄養ゼリーなどの食べやすいものを試みたりしている。</li> </ul>		A. 充分にできている(満場一致)	身体機能に合わせた食事提供は大変ですが今後も適切に取り組んでいただきたいです。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保でき	B. ほぼできている(昨年度は	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疾患に基づき制限のある場合には、事業所でできる範囲での方法で対応している。</li> <li>・年齢を考えると制限にとらわれずに食べられるものをおいしいと感じていただくのが良いのではと思うことがある。</li> <li>・食べる量や栄養のバランスが偏った場合にはかかりつけ医やスタッフ間で話し合い工夫しながら経口からの摂取が確保できるよう対応している。</li> </ul>			

		るよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かかりつけ医への相談や、スタッフ間で話し合いながら取り組んでいる。</li> <li>・飲み込みが難しい方は刻んだり、ミキサー食にしたり、水分にはとろみをつけて提供するなど、工夫している。</li> <li>・過剰な管理は控えているが、厨房からの献立表に食事ごとのカロリー、塩分量の記載があり参考にしている。</li> <li>・水分の摂取を好まれないかについては、水分補給の大切さを利用者様にお話しをしたり、味噌汁の増量や好みの飲料を提供することで必要量の確保に努めている。</li> <li>・食事の盛り付け量について職員にばらつきがある。</li> <li>・減塩対応の方の減塩がしていないことがある。</li> <li>・面会時差し入れがあれば職員がお預かりし、お茶の時間などに提供している。</li> </ul>			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎食後の口腔ケア実施を基本としている。</li> <li>・自立度の高いかたに対しても、必要に応じ、義歯の汚れの確認等のアプローチを行っている。</li> <li>・義歯使用の利用者様については、定期的に義歯洗浄をしている。</li> <li>・義歯の不具合や自歯の不調あれば、歯科医師の往診を受けたり、受診に出かけている。</li> </ul>		A. 充分にできている(満場一致)	口内環境は万病のもとでもあります。今後も評価に基づき適切な取り組みをお願いします。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「排泄チェック表」を作成し、排泄リズムを把握している。</li> <li>・ポータブルトイレの高さや居室内の位置を調整し、トイレに行きやすいよう工夫している。</li> <li>・おむつやパット類は、職員間で相談し、各利用者様の体型等を考慮し、その人に合った物を選定している。</li> <li>・排便のコントロールについてはかかりつけ医と相談しながら調整を行っている。</li> </ul>		A. 充分にできている(満場一致)	排泄にも個人差があり、運動や水分不足で便秘になりやすいと思います。今後も適切な取り組みをお願いします。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々	B. ほぼできている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調のことも考え、長風呂にならないよう声掛けをしているが、気分を害される方もおられる為果たして個々の希望に沿った支援ができているのか判断しがたい。</li> <li>・入浴について意向を聞きながら対応している。</li> <li>・1人1人の希望やタイミングに必ずしも合わせてあげることができていないことがある。</li> <li>・入浴自体を好まれず、なかなか実施に至らない利用者様がおられるが、毎日声をかけることで、少しでも前向きな際を逃さず入浴を提供している。</li> <li>・その人の体調、タイミングに合わせて声掛けをしたり、拒否されたら無理をせず、入浴日を変更して対応している。</li> </ul> <p>【補足説明】</p>			

		にそった支援をしている		重介護者の入浴介助については機械浴槽がない為、シャワー浴での提供にとどまっており、また、人員体制の厚い日中での実施という制限もあるため、自己評価をBとした。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息をしたり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1人の状態に合わせ、休憩・離床など一定状態が続かないよう声掛けやケアを実施している。</li> <li>・休息が必要なかたには身体に配慮した支援を行っている。寝たきりや座りっぱなしにならないよう努めている。</li> <li>・お互いのふれあいの場が途切れないように、また、個々の生活、身体状況を把握したうえで対応している。</li> </ul>			
34	服薬支援	一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服薬内容についてはアセスメントシートに反映し職員が把握できるようにしている。</li> <li>・薬の配薬後及び与薬前には複数の職員で内容に間違いがないかをダブルチェックしている。</li> <li>・下剤や利尿剤等排泄面に関する薬について、排泄の状況を観察し、コントロールを行っている。</li> <li>・飲み込む力が弱いかたには、主治医や薬剤師に相談し、錠剤を顆粒等に変更し飲みやすい形で服用できるよう連携をしている。</li> <li>・服薬内容については、主治医と協議し、定期的に見直すよう心掛けている。</li> </ul>		A. 充分にできている（満場一致）	薬は間違われると本当に大変ですが、充分対処されていると思います。今後も評価に基づき適切な取り組みをお願いします。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貼り絵や塗り絵など各自の趣味に合わせた余暇活動を行っている。</li> <li>・できる範囲内で洗濯もの畳みなど作業をお願いしている。</li> <li>・お菓子作りの企画では、利用者様に一緒に作っていただくよう働きかけている。</li> <li>・定期的に理容師の方に来所して頂き、散髪を実施することで気分転換につなげている。</li> </ul>	<p>■■■■■（高齢者福祉課） お菓子作りなど利用者が得意なこと続けていかれるといいと思います。</p> <p>■■■■■ 委員（あんしん支援センター） 趣味などあると思いますので続けていってあげられるといい。作品はどうしておられますか。</p> <p>ホーム長 居室やリビングに貼ってあります。</p> <p>■■■■■（家族会代表） 今後も色々アイデアを出しながらやっていってほしい。</p> <p>■■■■■（地域住民代表） 公報で活動を拝見している。楽しそうにしておられていいと思います。</p> <p>■■■■■（地域住民代表） 自分は似顔絵を描きます。またボランティアに来たいです。</p> <p>ホーム長 よろしくお願いします。</p>		

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	B. ほぼできている	<ul style="list-style-type: none"><li>・歩行可能な利用者のみならず、車イスでもリビングから直接出られるバリアフリー仕様の中庭を活用し、各利用者が日光浴できる機会を確保している。</li><li>・毎月外出の計画を立てて出かけていただいている。</li><li>・希望があれば食事をまたがない形での外出を許可している。</li><li>・食事を跨がない範囲での帰宅外出をできるようにした。(9時から11時、13時から16時等)</li></ul>	■■■■■(高齢者福祉課) 食事時間を跨がないのは感染症の観点からですか？ ホーム長 それもありますが、誤嚥などの事故防止の為でもあります。 ■■■■■(あんしん支援センター) 外出などの希望は多いと思いますが、家族の対応もあると思います。だいたい何人くらい外出されますか。 ホーム長 定期的には2名程度です。 ■■■■■(家族会代表) コロナ禍以降少なくなっていると思います。日光浴だけでも少し外出させてやってください。 ■■■■■(地域住民代表) 窓辺や中庭での日光浴でのいいと思います。 ■■■■■(地域住民代表) 外出から帰られた後の利用者はきっといい表情だと思います。続けてあげてください。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	C. あまりできていない	<ul style="list-style-type: none"><li>・お金を所持し使うことの大切さは理解してはいるもののトラブル防止のため現金や貴重品を所持することは原則控えていただいている。</li><li>・利用者様によって思いが強い方もおられるので、自身が持っていることで落ち着かれることを踏まえ所持してもらい、紛失されないよう努めている。</li></ul>			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	B. ほぼできている	<ul style="list-style-type: none"><li>・電話があれば声だけでも家族様に聞いてもらうようにしている。</li><li>・言語的なコミュニケーションをとることが可能な利用者には、電話にてご家族と会話ができる機会を確保及び推奨している。又、自らが手紙を書くことが困難になったかたについても、ご家族等から送られてきた手紙は居室に飾り大切に保管している。</li><li>・家族様からの電話・手紙は受け取ることがあるが、ご本人様からの働きかけは少ない。</li><li>・親族の方から手紙が来ることもあり、本人様にお渡ししている。</li></ul> <p>【補足説明】</p> <p>面会が定期的にあり、電話や手紙でのコミュニケーションが少なくなってきたためBとする。</p>			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、	A. 充分にできている	<ul style="list-style-type: none"><li>・バリアフリー化をしており、段差などで躓かれないようにしている。</li><li>・手すりを設置している。</li><li>・リビング内には共用ソファを置き、自席から離れて一人でゆったりとくつろげる空間を提供している。</li><li>・リビングには、手作りカレンダー並びに日めくりカレンダーを設置し、生活感ある空間づくりを意識している。</li></ul>		A. 充分にできている(満場一致)	施設の広さがあると動きやすいですね。リハビリの為あえて段差のある施設もありますが、各施設のやり方でいいと思

		安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている		<ul style="list-style-type: none"><li>・リビング内及び玄関付近などに、広報誌を掲示している。</li><li>・入所前に暮らしていたような住環境を整えることで心地よく過ごしていただくよう配慮している。</li><li>・居室内において利用者一人ひとりの身体能力に合わせた福祉用具を活用することで、安全に自立した生活が送られるよう努めている。</li></ul>			います。今後もよろしくお願いします。
--	--	--	--	---	--	--	--------------------